

2024年3月期 決算短信[日本基準](連結)

2024年5月15日

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 5013 URL https://www.yushiro.co.jp/

(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 有坂 昌規

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長

2024年6月25日

(氏名) 横井 宏紀 TEL 03-3750-6793 2024年6月6日 配当支払開始予定日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 有 決算説明会開催の有無 有

定時株主総会開催予定日

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

代表者

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率									
	売上高		営業利	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2024年3月期	52,985	13.2	3,619	244.8	4,628	220.8	3,010	234.9	
2023年3月期	46,794	24.2	1,049	17.4	1,442	6.5	898	229.2	

(注)包括利益 2024年3月期 6,265百万円 (46.4%) 2023年3月期 4,279百万円 (77.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	221.20		8.0	7.8	6.8
2023年3月期	66.04		2.7	2.7	2.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 591百万円 2023年3月期 203百万円

(2) 連結財政状態

. ,			- t			
	総資産	総資産純資産		1株当たり純資産		
	百万円	百万円	%	円 銭		
2024年3月期	62,169	42,633	64.7	2,953.54		
2023年3月期	56,283	36,984	61.6	2,545.72		

2024年3月期 40,196百万円 2023年3月期 34,646百万円 (参考) 自己資本

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	4,304	413	1,603	10,981
2023年3月期	174	59	83	7,327

2. 配当の状況

	年間配当金							純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2023年3月期		10.00		10.00	20.00	272	30.3	0.8
2024年3月期		20.00		50.00	70.00	952	31.7	2.6
2025年3月期(予想)		30.00		40.00	70.00		30.7	

3. 2025年 3月期の連結業績予想(2024年 4月 1日~2025年 3月31日)

(06表示け、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	55,500	4.7	3,680	1.7	4,340	6.2	3,100	3.0	227.78

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数 期中平均株式数

2024年3月期	13,900,065 株	2023年3月期	13,900,065 株
2024年3月期	290,421 株	2023年3月期	290,362 株
2024年3月期	13,609,644 株	2023年3月期	13,609,703 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

ſ		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
ĺ		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	2024年3月期	20,919	18.5	354		2,659	109.8	3,297	114.4
	2023年3月期	17,650	13.3	273		1,267	322.2	1,538	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円銭
2024年3月期	242.31	
2023年3月期	113.03	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	40,212	25,090	62.4	1,843.59
2023年3月期	36,692	21,264	58.0	1,562.44
(参考) 自己資本	5 2024年3月期 25,090百	万円 2023年3月期 21	,264百万円	

(参考) 自己資本

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の 業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料4ページの「1.(4)今後の見通し」をご覧くださ い。

決算説明会資料は、2024年5月30日(木)に当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1.	圣営成績等の概況	2
	1)当期の経営成績の概況	2
	2) 当期の財政状態の概況	3
	3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
	4) 今後の見通し	4
2.	会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3.	車結財務諸表及び主な注記	5
	1) 連結貸借対照表	5
	2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
	車結損益計算書	7
	車結包括利益計算書	8
	3) 連結株主資本等変動計算書	9
	4) 連結キャッシュ・フロー計算書	1
	5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
	継続企業の前提に関する注記)	13
	表示方法の変更)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	(セグメント情報等)	13
	(1株当たり情報)	16
	(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、世界的なインフレに対する金融引締めへの転換、ウクライナや中東地域の情勢不安、中国経済の成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。また日本経済においては、コロナ禍からの経済活動の正常化が進んでいますが、円安基調の長期化、原材料価格の高止まりなど、引き続き景気の先行きを注視していく必要があります。

このような状況下、当社においては、中期経営計画『RECOVER PLUS』の最終年度として、収益性の改善を第一に各種施策を進めてまいりました。当社の主要顧客である自動車メーカー・部品メーカーにおいては、半導体等の部材不足による減産の影響が解消し、当社グループ全体として販売数量は回復しつつありますが、依然として原材料価格が高い水準で推移しており、前期に引き続き販売価格の改定、原価低減等に取り組んでまいりました。これらの施策及び円安による為替換算上の影響もあり、中期経営計画最終年度における売上高及び利益の目標数値を達成することができました。

当連結会計年度における売上高は前期比13.2%増の52,985百万円、営業利益は前期比244.8%増の3,619百万円、経常利益は前期比220.8%増の4,628百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比234.9%増の3,010百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①セグメント別売上高

0 - 7 / 1 / 1002 - 100							
		前第4四半期週	車結累計期間	当第4四半期通	車結累計期間	増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		17, 975	38. 4	19, 607	37. 0	1,632	9. 1
	南北アメリカ	17, 015	36. 4	20, 679	39. 1	3, 663	21.5
SE AI	中国	6, 105	13.0	6, 050	11.4	△55	△0.9
海外	東南アジア/インド	5, 698	12. 2	6, 648	12.5	950	16. 7
	海外合計	28, 819	61.6	33, 378	63. 0	4, 558	15.8
	日本+海外合計	46, 794	100.0	52, 985	100.0	6, 190	13. 2

②セグメント別営業利益又は損失(△)

		前第4四半期通	車結累計期間	当第4四半期通	車結累計期間	増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
	日本	37	2.5	592	14. 5	554	1, 476. 8
	南北アメリカ	916	60. 5	2, 633	64. 3	1,717	187. 3
海外	中国	256	16. 9	218	5. 3	△38	△14.8
イザクト	東南アジア/インド	305	20. 1	651	15. 9	346	113. 3
	海外合計	1, 479	97.5	3, 504	85. 5	2, 025	136. 9
	日本+海外合計 (調整額除く)	1, 516	100.0	4, 096	100.0	2, 579	170. 1

③セグメント別概況

(日本)

販売数量は前期並みにとどまり、年度終盤における一部原材料価格の上昇もありましたが、前期からの積み残し分の販売価格改定の影響もあって増収・増益となりました。

(南北アメリカ)

北米を中心に販売は好調であり、前期において顧客の稼働率低下の影響を受けていた拠点においても販売が急速に回復し、また各拠点で販売価格の改定も進んだことから、大幅な増収・増益となりました。

(中国)

急激なEV化シフトを背景とした日系自動車メーカーの苦戦により販売は伸びず減収となりましたが、収益性の改善に努めた結果、上期では営業赤字を計上したものの通期では黒字を回復し前期比でわずかな減益にとどまりました。

(東南アジア/インド)

各拠点において顧客の稼働率の回復によって販売は堅調に推移しており、また一部の拠点において前期に実施できなかった顧客の販売価格の改定も進んだことから、増収・増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

流動資産は、前期末に比べ17.0%増加し、30,150百万円となりました。主な要因として、現金及び預金が4,309百万円、受取手形及び売掛金が637百万円増加したことが挙げられます。

固定資産は、前期末に比べ4.9%増加し、32,019百万円となりました。主な要因として、投資有価証券が1,366百万円増加したことが挙げられます。

この結果、総資産は、前期末に比べて10.5%増加し、62,169百万円となりました。

②負債

流動負債は、前期末に比べ4.0%増加し、13,883百万円となりました。主な要因として、その他の流動負債が361百万円、未払金が239百万円増加したことが挙げられます。

固定負債は、前期末に比べ5.0%減少し、5,652百万円となりました。主な要因として、繰延税金負債が645百万円増加した一方、長期借入金が913百万円減少したことが挙げられます。

この結果、負債合計は、前期末に比べて1.2%増加し、19,535百万円となりました。

③純資産

純資産合計は前期末に比べ15.3%増加し、42,633百万円となりました。主な要因として、利益剰余金が2,578百万円増加、為替換算調整勘定が1,957百万円変動したことが挙げられます。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における、現金及び現金同等物の残高は、10,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,654百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により4,304百万円の収入超過となりました。主な要因は、法人税等の支払額1,050百万円、持分法による投資損益591百万円、仕入債務の減少額427百万円があったものの、税金等調整前当期純利益4,548百万円、減価償却費1,062百万円、棚卸資産の減少額489百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により413百万円の収入超過となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出600百万円、有形固 定資産の取得による支出461百万円があったものの、関係会社株式の売却による収入961百万円、有形固定資産の売 却による収入450百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により1,603百万円の支出超過となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出963百万円、配当金の支払額408百万円によるものです。

(4) 今後の見通し

2024年度の経済状況は、ウクライナでの戦争の長期化、中東での地政学リスクの顕在化など不透明な要因があり、物流面の混乱などから原材料価格の高値安定が見込まれます。また、日本国内でのインフレの亢進、賃上げによる人件費の上昇などコスト上昇が多く想定されます。顧客動向に関しては、自動車・航空機とも引き続き穏やかに生産が増加するものと見込んでいます。このような状況下、コストの上昇要因に対し採算の確保にむけて、顧客への価格改定の理解を求めるとともに、コスト削減を進めていきます。さらに、進行するEV化・顧客のESG志向の進行を見据えた新製品の拡販・投入、新商材であるヒカリアクション・自己修復性素材の事業化を強力に進め、新たな収益源の確立を図ります。

上記の状況から、2024年度の業績見通しは、売上高55,500百万円(前期比4.7%増)、営業利益3,680百万円(前期比1.7%増)、経常利益4,340百万円(前期比6.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益3,100百万円(前期比3.0%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社連結財務諸表は、現在、日本基準を適用しています。国際財務報告基準 (IFRS) の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8, 028	12, 338
受取手形及び売掛金	9, 382	10, 02
商品及び製品	2, 521	2, 54
原材料及び貯蔵品	4, 626	4, 53
その他	1, 239	73
貸倒引当金	$\triangle 25$	$\triangle 2$
流動資産合計	25, 773	30, 15
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3, 882	3, 87
機械装置及び運搬具(純額)	1, 426	1, 43
工具、器具及び備品(純額)	300	28
土地	5, 168	5, 14
リース資産 (純額)	38	3
建設仮勘定	63	12
有形固定資産合計	10, 879	10, 90
無形固定資産		
のれん	1, 949	1, 84
顧客関連資産	1, 994	1, 99
技術資産	612	59
商標権	537	52
その他	404	93
無形固定資産合計	5, 499	5, 89
投資その他の資産		
投資有価証券	4, 316	5, 68
関係会社株式	7, 615	7, 52
保険積立金	724	71
長期預金	15	
退職給付に係る資産	412	48
繰延税金資産	101	8
その他	958	74
貸倒引当金	△13	△1
投資その他の資産合計	14, 131	15, 22
固定資産合計	30, 509	32, 01
資産合計	56, 283	62, 16

		(単位:日月円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5, 381	5, 190
短期借入金	4, 943	4, 894
リース債務	98	95
未払金	854	1,093
未払法人税等	220	317
賞与引当金	367	445
その他	1, 485	1,846
流動負債合計	13, 350	13, 883
固定負債		
長期借入金	2, 392	1, 478
リース債務	138	128
繰延税金負債	1,900	2, 546
役員退職慰労引当金	91	109
退職給付に係る負債	1, 218	1, 192
長期預り保証金	184	185
資産除去債務	20	11
固定負債合計	5, 947	5, 652
負債合計	19, 298	19, 535
純資産の部		
株主資本		
資本金	4, 249	4, 249
資本剰余金	3, 931	3, 931
利益剰余金	24, 855	27, 433
自己株式	△384	△384
株主資本合計	32, 651	35, 230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,738	2, 677
為替換算調整勘定	400	2, 357
退職給付に係る調整累計額	△143	△68
その他の包括利益累計額合計	1, 994	4, 966
非支配株主持分	2, 338	2, 437
純資産合計	36, 984	42, 633
負債純資産合計	56, 283	62, 169

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日	当連結会計年度 (自 2023年4月1日
+1+	至 2023年3月31日)	至 2024年3月31日)
売上高	46, 794	52, 985
売上原価	35, 271	37, 992
売上総利益	11, 523	14, 992
販売費及び一般管理費	10, 473	11, 373
営業利益	1,049	3, 619
営業外収益	50	100
受取利息	76	122
受取配当金	121	127
為替差益	_	128
持分法による投資利益	203	591
その他	166	129
営業外収益合計 ※### # FR	568	1, 098
営業外費用	5.0	12
支払利息	56	46
為替差損	23	<u> </u>
シンジケートローン手数料	63	_
その他	32	42
営業外費用合計	175	89
経常利益	1, 442	4, 628
特別利益	100	
投資有価証券売却益	108	_
固定資産売却益	400	8
関係会社株式売却益		24
特別利益合計	508	32
特別損失		
投資有価証券評価損	2	_
固定資産廃棄損	_	44
減損損失	_	50
関係会社出資金評価損	229	17
特別損失合計	231	112
税金等調整前当期純利益	1,719	4, 548
法人税、住民税及び事業税	680	1, 131
法人税等調整額	<u>△171</u>	242
法人税等合計	508	1, 374
当期純利益	1, 210	3, 174
非支配株主に帰属する当期純利益	311	164
親会社株主に帰属する当期純利益	898	3, 010

連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1, 210	3, 174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	226	937
為替換算調整勘定	2, 331	1,727
退職給付に係る調整額	△21	75
持分法適用会社に対する持分相当額	531	351
その他の包括利益合計	3, 068	3, 090
包括利益	4, 279	6, 265
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3, 834	5, 981
非支配株主に係る包括利益	445	283

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4, 249	3, 991	24, 522	△384	32, 378
当期変動額					
剰余金の配当			△517		△517
親会社株主に帰属する当期純利益			898		898
非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動		△60			△60
従業員奨励福利基金 等			△48		△48
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					
当期変動額合計		△60	332		272
当期末残高	4, 249	3, 931	24, 855	△384	32, 651

	その他の包括利益累計額					
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1, 516	△2, 334	△122	△940	2, 429	33, 868
当期変動額						
剰余金の配当						△517
親会社株主に帰属する当期純利益						898
非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動						△60
従業員奨励福利基金 等						△48
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	222	2, 734	△21	2, 935	△91	2, 843
当期変動額合計	222	2, 734	△21	2, 935	△91	3, 116
当期末残高	1, 738	400	△143	1, 994	2, 338	36, 984

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4, 249	3, 931	24, 855	△384	32, 651
当期変動額					
剰余金の配当			△408		△408
親会社株主に帰属す る当期純利益			3, 010		3, 010
自己株式の取得				△0	△0
従業員奨励福利基金 等			△23		△23
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					
当期変動額合計			2, 578	△0	2, 578
当期末残高	4, 249	3, 931	27, 433	△384	35, 230

	その他の包括利益累計額					
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1, 738	400	△143	1, 994	2, 338	36, 984
当期変動額						
剰余金の配当						△408
親会社株主に帰属する当期純利益						3, 010
自己株式の取得						△0
従業員奨励福利基金 等						△23
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	938	1, 957	75	2, 971	99	3, 070
当期変動額合計	938	1, 957	75	2, 971	99	5, 649
当期末残高	2, 677	2, 357	△68	4, 966	2, 437	42, 633

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,719	4, 548
減価償却費	1,065	1,062
のれん償却額	221	238
持分法による投資損益(△は益)	△203	△591
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	$\triangle 5$
賞与引当金の増減額 (△は減少)	$\triangle 0$	75
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	$\triangle 9$	_
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△27	14
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△108	△68
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△79	18
受取利息及び受取配当金	△197	$\triangle 249$
支払利息	56	46
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,093	△271
棚卸資産の増減額(△は増加)	△848	489
仕入債務の増減額 (△は減少)	703	$\triangle 427$
その他	△550	169
小計	657	5, 048
利息及び配当金の受取額	224	353
利息の支払額	△55	$\triangle 46$
法人税等の支払額	△651	△1, 050
営業活動によるキャッシュ・フロー	174	4, 304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△691	△600
定期預金の払戻による収入	622	43
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 22$	$\triangle 23$
投資有価証券の売却による収入	212	_
関係会社出資金の払込による支出	$\triangle 414$	_
関係会社出資金の払戻による収入	_	123
関係会社株式の売却による収入	_	961
有形固定資産の取得による支出	△525	△461
有形固定資産の売却による収入	599	450
無形固定資産の取得による支出	△31	△240
無形固定資産の売却による収入	115	0
その他	194	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	59	413

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,704	$\triangle 0$
長期借入れによる収入	202	_
長期借入金の返済による支出	△971	△963
配当金の支払額	△517	△408
非支配株主への配当金の支払額	$\triangle 206$	△134
自己株式の取得による支出	_	$\triangle 0$
リース債務の返済による支出	△85	$\triangle 96$
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得 による支出	△210	_
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83	△1, 603
現金及び現金同等物に係る換算差額	485	538
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	636	3, 654
現金及び現金同等物の期首残高	6, 691	7, 327
現金及び現金同等物の期末残高 	7, 327	10, 981

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、投資その他の資産の「投資有価証券」に含めていた「関係会社株式」は、明瞭性の観点から、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、投資その他の資産の「投資有価証券」に含めていた7,615 百万円は「関係会社株式」として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に金属加工油剤を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては各地域をそれぞれ独立した現地法人が担当しており、取扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「南北アメリカ」、「中国」及び「東南アジア/インド」の4地域を報告セグメントとしております。なお、「日本」セグメントでのみ、金属加工油剤のほか、ビルメンテナンス製品を生産・販売しております。報告セグメントの各地域に属する国は、次のとおりであります。

報告セグメント	国 名
日 本	日本
南北アメリカ	アメリカ、ブラジル、メキシコ
中国	中国
東南アジア/インド	マレーシア、タイ、インド、インドネシア

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と 同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
 - I 前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

<u>(単位:百万円)</u>

	報告セグメント				調 東ケダ百	連結財務	
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計	調整額 (注) 1	諸表計上額 (注) 2
売上高							
金属加工油剤関連事業	16, 214	17, 015	6, 105	5, 698	45, 034	_	45, 034
ビルメンテナンス 関連事業	1,760	_	_	_	1, 760	_	1,760
顧客との契約から 生じる収益	17, 975	17, 015	6, 105	5, 698	46, 794	_	46, 794
外部顧客への売上高	17, 975	17, 015	6, 105	5, 698	46, 794	_	46, 794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1, 278	9		27	1, 315	△1, 315	_
≒	19, 253	17, 024	6, 105	5, 725	48, 109	△1, 315	46, 794
セグメント利益	37	916	256	305	1, 516	△466	1, 049
セグメント資産	18, 189	9, 585	6, 355	6, 121	40, 252	16, 030	56, 283
その他の項目							
減価償却費	414	215	67	136	833	231	1, 065
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	309	135	26	67	538		538

- (注) 1 調整額は、以下のとおりであります。
 - (1) セグメント利益の調整額 \triangle 466百万円のうち主なものは、未実現利益の消去 \triangle 13百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費 \triangle 453百万円であります。
 - (2)セグメント資産の調整額16,030百万円には、全社資産の金額5,766百万円、持分法適用会社への投資額7,555百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産5,092百万円並びに報告セグメント間の債権債務の相殺消去等△2,383百万円が含まれております。
 - (3)減価償却費の調整額231百万円は、クオリケム社買収に係る無形固定資産の償却費であります。
 - 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

						1	EE - D /3 1/
	報告セグメント				∃田 車々 安石	連結財務	
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計	調整額 (注) 1	諸表計上額 (注) 2
売上高							
金属加工油剤関連事業	17, 873	20, 679	6, 050	6, 648	51, 251	_	51, 251
ビルメンテナンス 関連事業	1, 733	_	_	_	1, 733	_	1, 733
顧客との契約から 生じる収益	19, 607	20, 679	6, 050	6, 648	52, 985	_	52, 985
外部顧客への売上高	19, 607	20, 679	6, 050	6, 648	52, 985	_	52, 985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1, 348	6	_	101	1, 456	△1, 456	_
計	20, 955	20, 685	6, 050	6, 749	54, 441	$\triangle 1,456$	52, 985
セグメント利益	592	2, 633	218	651	4, 096	△477	3, 619
セグメント資産	19, 152	11, 571	6, 733	7, 091	44, 549	17, 620	62, 169
その他の項目							
減価償却費	397	222	73	119	813	248	1, 062
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	549	297	15	31	894	△30	864

- (注) 1 調整額は、以下のとおりであります。
 - (1)セグメント利益の調整額△477百万円のうち主なものは、未実現利益の消去8百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△487百万円であります。
 - (2) セグメント資産の調整額17,620百万円には、全社資産の金額8,545百万円、持分法適用会社への投資額7,494百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産4,950百万円並びに報告セグメント間の債権債務の相殺消去等△3,371百万円が含まれております。
 - (3)減価償却費の調整額248百万円は、クオリケム社買収に係る無形固定資産の償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△30百万円は、未実現利益に係るものであります。
 - 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) 該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	日本	南北アメリカ	中国	東南アジア /インド	調整額	合計
減損損失	50	_	_	_	_	50

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
1株当たり純資産額	2, 545. 72円	2, 953. 54円	
1株当たり当期純利益	66.04円	221.2円	

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 - 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
1株当たり当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	898	3, 010	
普通株主に帰属しない金額(百万円)	_	_	
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	898	3,010	
普通株式の期中平均株式数(千株)	13, 609	13, 609	

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)	
純資産の部の合計額(百万円)	36, 984	42, 633	
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	2, 338	2, 437	
(うち非支配株主持分)	(2, 338)	(2, 437)	
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	34, 646	40, 196	
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	13, 609	13, 609	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。